

## 平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード	1-1-3	1-2-1	事業名	(仮称)市立認定こども園整備事業
担当	子ども未来局子育て支援部子育て支援課 大橋 TEL211-2985 教育委員会学校教育推進課企画担当 村上 TEL211-3838			
全体計画				
事業内容	認定こども園に関する法施行を踏まえ、就学前の教育・保育ニーズに対応する新たな選択肢である認定こども園制度は、今後民間事業者による展開が想定される。この動きに対して、就学前の子どもの教育及び保育並びに子育て支援を一体的に提供する運営・機能のモデルを示していく必要があることから、市立幼稚園に公立保育所(区保育・子育て支援センター)を併設することにより、幼保連携型の(仮称)市立認定こども園(平成20年度に公募により名称を「札幌市立認定こども園にじいろ」と決定)を整備する。 区保育・子育て支援センターについては、安心して子どもを生み育てられる環境づくりのため、従来の保育所機能に加え、新たに常設のサロン等のさまざまな子育て支援機能を有するものである。 幼稚園については、札幌市幼児教育振興計画の内容を踏まえ、基本的に1区1園の研究実践機能を持つ幼稚園との位置づけを目指して検討する。		<年度別の事業内容>	
			<b>【19年度】</b> ・認定こども園制度に関する検討(基本理念・運営方針等の決定) ・市立認定こども園にじいろの基本実施設計 ・市立しんえい幼稚園仮設園舎設計及び本体工事 ・市立しんえい幼稚園解体設計及び本体工事  <b>【20年度】</b> ・認定こども園運営に関する具体的検討(0歳から就学前の具体的指導計画等の作成) ・市立認定こども園にじいろ本体工事・開設準備 ・市立しんえい幼稚園仮設園舎に係るリース等  <b>【21年度】</b> ・市立認定こども園にじいろ開設及び運営開始 ・実践を通じたモデル的役割の確立及び取り組み内容に係る情報発信	
事業内容	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)	
	<b>【内容】</b> ①認定こども園制度に関する検討(目指すべき目標や理念、運営方針の決定、0歳から就学前の教育課程・保育計画作成、20年度園児募集時に公表する基本的な制度内容など) ②市立認定こども園にじいろの基本実施設計・仮設園舎整備 <b>【費用内訳】</b> 市立認定こども園にじいろ設計費(16,075千円)、市立しんえい幼稚園仮設園舎設計・本体工事費(42,454千円)、市立しんえい幼稚園解体設計・解体工事費(27,784千円) <b>【整備概要】</b> 市立しんえい幼稚園を全面改築し、市立認定こども園にじいろを開設するための基本実施設計を行った。また、市立しんえい幼稚園仮設園舎の設計・本体工事を行った。 <b>【市立認定こども園にじいろ施設概要】</b> ①所在:真栄2条1丁目②構造:RC造 2階建③施設面積:約1,325㎡④定員:115人 <b>【(参考)市立しんえい幼稚園施設概要】</b> ①所在:真栄2条1丁目(既存園舎は解体)②構造:鉄骨造平屋建(既存園舎)、軽量鉄骨平屋建(仮設園舎)③施設面積:既存園舎890.4㎡、仮設園舎631.89㎡⑤定員:140人		<b>【内容】</b> ①認定こども園運営に関する具体的検討(0歳から就学前の具体的指導計画の作成、具体的運営を想定した課題の解決、行事への取組方法等) ②新園舎本体工事 ③初度調弁(保育物品等)の準備 ④園名、園歌、園章の作成及び決定 ⑤市立しんえい幼稚園仮設園舎より移転 ⑥開設記念式典の開催 <b>【費用内訳】</b> ①市立認定こども園にじいろ本体工事費(379,376千円) ②開設に向けての物品購入等(8,634千円) ③市立しんえい幼稚園仮設園舎リース料等(4,335千円)	
事業内容	平成21年度事業内容(決算)		平成22年度事業内容(予算)	
	平成20年度において整備を終了(平成21年4月1日開設)。平成21年度は運営内容等についての向上を図り、また、実践を通じたモデル的役割の確立を目指して取り組み内容に係る情報発信を行った。		平成21年度中の園評価を踏まえ、「育成課程」・「指導計画」・「職員の勤務体制」を見直すなど、運営内容等について一層の向上を図る。 併せて、実践を通じた認定こども園のモデル的役割を確立し、民間施設に対して取組内容に係る情報発信も行っていく。	
規模				
件数				
等				

## 平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	1-1-3	1-2-1		事業名	(仮称)市立認定こども園整備事業		
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (実 績)	21年度末 (実 績)	22年度末 (予 定)	22年度末 (目 標)	
札幌市立認定こども園にじいろの開園	—	準備	準備	開園	運営	開園 (21年度)	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>■市民との連携、市民参加 広報等での周知を行い、また保護者及び地域住民への事前説明会を実施した。説明会においては、近隣住民に対する日照等の配慮をはじめ駐車場を含む外構設備等について理解や意見を求め、整備内容に反映させた。</p> <p>■企業等との連携・協働 [資金協力] [人材協力] [情報協力] [その他の協力] 都市局建築部を通して設計業者をプロポーザル方式で選定したことにより、創造力・技術力・経験など、最も適した設計者を選定することができた。選定業者と緊密に連携することにより、利用者ニーズに対応したすべての就学前の子どもが安全・快適に生活し、豊かに育つことができるよう施設整備を行った。</p> <p>■市民・企業等が参加しやすい環境づくり 認定こども園という新たな取組みについて札幌市がモデルを示していくことで、民間によるさらなる事業展開が期待できる。</p>							
評価(成果)			課題				
<p>施設整備については、教育及び保育を実践する現場の幼稚園教諭や保育士等の意見を積極的に取り入れ、併せて保護者及び地域住民への事前説明会にて理解や意見を求めて基本、実施設計に反映させた。これにより、子どもが安全でのびのびと過ごすことができ、かつ、職員がより高い水準で教育及び保育並びに子育て支援を提供できる環境となった。</p> <p>また、運営内容についても現場の意見を取り入れつつ検討を重ね、幼稚園・保育所それぞれの良いところを引き出して、教育及び保育並びに子育て支援を一体的に提供する、認定こども園独自の育成課程を作成した。これにより、幼児教育・保育が充実し、多様化する保護者ニーズに対応できることから、地域の子育て家庭への支援が一層充実した。</p> <p>これらにより、ハード面及びソフト面それぞれが整い、本市がモデルを示し、民間によるさらなる事業展開に向けた、地域の子育て支援や就学前の子どもに対する、教育・保育並びに子育て支援の一体的な提供を行う体制ができた。</p>			<p>新たな制度であるため、開設後の取組みや運営内容について理解を得るため、保護者及び地域住民に情報発信していく必要がある。</p> <p>また、運営内容については、就学前の子どもに対して一体的に教育及び保育並びに子育て支援を提供するために、幼稚園教諭及び保育士の相互理解を一層深めていく必要がある。</p>				
今後の事業の予定・方向							
<p>平成21年4月の開設後は取組みや運営内容について理解を得るため、保護者及び地域住民に情報発信していく必要がある。</p> <p>また、認定こども園における運営及び機能のモデルとしての位置づけを確立し、その成果を発信することにより、民間事業者による認定こども園の普及・整備促進を図っていく。</p>							

## 平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

施策体系コード	1-1-3	1-2-1		事業名	(仮称)市立認定こども園整備事業		
事業費の推移							
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計	
計画	事業費	93,216	439,784	0	0	533,000	
	財源内訳						
	国・道支出金	0	0	0	0	0	
	市の債	0	308,000	0	0	308,000	
	その他の	0	0	0	0	0	
一般財源	93,216	131,784	0	0	225,000		
予算	事業費	93,219	462,100	0	0	555,319	
	財源内訳						
	国・道支出金	0	0	0	0	0	
	市の債	0	197,000	0	0	197,000	
	その他の	0	0	0	0	0	
一般財源	93,219	265,100	0	0	358,319		
実績	事業費	86,313	392,345	0	-	478,658	
	財源内訳						
	国・道支出金	0	0	0		0	
	市の債	0	165,000	0		165,000	
	その他の	0	0	0		0	
一般財源	86,313	227,345	0		313,658		
事業費の進捗率		(H19実績+H20実績+H21実績+H22予算事業費) / (計画事業費)				89.8%	
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)							
《全体》							
[19年度]							
【計画と実績の差異】							
・幼保連携に係る研修費及び開設準備費用の増							
・札幌市立しんえい幼稚園解体工事費の増							
・市立認定こども園にじいる基本実施設計費の減							
・市立しんえい幼稚園仮設園舎設計・同園舎解体設計費の減							
[20年度]							
【計画と予算の差異】							
・幼保連携に係る研修費及び開設準備費用の増							
・地中熱ヒートポンプ導入及びオール電化による設備工事等の増							
・しんえい幼稚園仮設園舎リース料等の減							
【計画と実績の差異】							
・市立認定こども園にじいる本体工事費の減							
[21年度]							
[22年度]							